

春らんまんのユガテと鎌北湖ハイキング

報告者 服部

今回のハイキングは西武秩父線の東吾野駅から峠を越えて鎌北湖に出て、湖の左岸を歩き、湖畔で昼食、その後北向地藏に向って登り返し武蔵横手駅に戻ってくるルートだ。まだ入間学園在学中、初めてこのコースを提案されたとき、そして往復すると聞いて、え！と驚いたものだ。しかし行ってみると意外に高低差もなく、距離もそれほどでないコースであったことを思い出す、もう8年前か、あの頃はまだ若かった。なお西武鉄道のHPによれば、12.4 km、4時間、初心者向けとある。

<https://www.seiburailway.jp/railways/hiking/syoshinsya/kamakitako/index.html>

2025年4月10日、曇り、9:12分東吾野駅、ハイキング部の精鋭6人が集合。簡単な準備体操をしていざ出発。この辺の民家は庭先に桜や花桃などを植えて春を演出して歓迎してくれる。



福德寺、虎秀集落を過ぎて9:55 ユガテに向って登り始める。10:20 ユガテに着く。カタカナ字名は珍しい、ユガテはお湯が出たことに由来して「湯が手」とか「湯が天」と書くとの説もあるがお湯が出たことはなく、また、アイヌ語あるいは朝鮮語由来説もあるらしい。しばし休憩。



11:00 エビガ坂を超えて 11:30 鎌北湖最奥部に降りる。



桜が満開、風が吹くと花びらが舞う。このころには日が射し本当に綺麗。11:45 鎌北湖畔の廃屋になった宿舎(公共の宿鎌北湖レイクビューと言ったらしい)の向かいのベンチで昼食を摂る。火事があったらしく、窓の外に以前はなかった黒い煤が付いている。無人の建物だから不審火だろう。





12:30 さあ、今度は北向地蔵に向って登り返す。

13:10 北向地蔵に着く。



啓明荘跡（ハイキングに参加のメンバーの2人は、こどもたちの餅つきなどのアクティビティに利用したことがあるとのこと）を経て五常の滝の脇を通り武蔵横手駅に向かう。昔は五常の滝は自由に入れたのに、いつの間にか、整備され有料になった。今日は入口に係の人がいる。珍しい。花のシーズンで多くのハイカーを期待してのことだろう。

